



2023年5月12日

各 位

上場会社名 株式会社 JMS  
 代表者名 代表取締役社長 奥窪 宏章  
 (コード番号 7702 東証プライム市場)  
 問合せ先 常務取締役コーポレート本部長 桂 龍司  
 TEL 082-243-5844

### 通期連結業績予想と実績との差異及び個別決算における特別損失計上に関するお知らせ

2022年11月4日に公表しました2023年3月期通期(2022年4月1日~2023年3月31日)の連結業績予想と本日公表の実績に、下記のとおり差異が生じたのでお知らせします。

また、2023年3月期の個別決算において、下記のとおり関係会社株式評価損を特別損失に計上しましたのでお知らせします。

#### 記

#### 1. 2023年3月期 通期連結業績予想と実績との差異

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	62,000	400	400	200	8円18銭
今回実績(B)	63,740	724	586	281	11円50銭
増減額(B-A)	1,740	324	186	81	
増減率(%)	2.8	81.2	46.6	40.5	
(ご参考)前期実績 (2022年3月期)	58,169	980	1,126	826	33円83銭

#### (差異の理由)

売上高については、需要回復を受けて北米向け成分献血用回路やAVF針(血液透析用針)の販売が好調であったほか、円安による円貨換算額の増加もあり、前回発表予想を17億40百万円(2.8%)上回りました。利益については、原材料費や電力費の高騰による影響を増収効果により一定程度吸収できたことに加え、販売費及び一般管理費の低減などにより、営業利益、経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益のいずれにおいても、前回予想を上回ることとなりました。

2. 個別決算における関係会社株式評価損の計上

当社の連結子会社であるジェイ・エム・エス・ヘルスケア・フィリピン, I N C. は、フィリピン共和国における新工場として 2016 年に操業を開始して以来、着実に業容拡大しているものの、昨今の新型コロナウイルス感染症や大幅な円安進行の影響等により、当初に想定していた事業計画の達成に遅れが生じることになりました。

以上の結果、当社が保有する同社株式について減損処理を行うこととし、個別決算において関係会社株式評価損として 14 億 34 百万円を特別損失に計上いたしました。

なお、関係会社株式評価損につきましては、個別財務諸表にのみ計上され、連結決算上消去されるため、連結業績へ与える影響はございません。

以 上